

整理番号 51

作成日 1997年10月 1日

改訂日 2007年 5月 1日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|-------|-------------------|
| 製品名 | アルミナ長繊維 |
| 会社名 | 大明化学工業株式会社 |
| 住所 | 長野県上伊那郡南箕輪村3685-2 |
| 担当部門 | 技術本部 |
| 電話番号 | 0265-72-4151 |
| FAX番号 | 0265-74-5100 |
| 緊急連絡先 | 同上 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|---------------------|---|
| GHS分類 ¹⁾ | : 酸化アルミニウム(IDNo. 738)を含有するが、長繊維に加工されているため該当しない。 |
| 健康に対する有害性 | : 有害な微細繊維(長さ5 μ m以上、太さ3 μ m以下)は含有しない。 |

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|--|
| 単一製品・混合物の区別 | : 集束剤を含む単一製品 |
| 化学名(又は一般名) | : 酸化アルミニウム・珪酸アルミニウム多結晶焼結体(アルミナ繊維) |
| 濃度又は濃度範囲 | : HT $Al_2O_3 = 87\%$ 、 $SiO_2 = 13\%$ TR $Al_2O_3 = 72\%$ 、 $SiO_2 = 28\%$ |
| 化学式 | : Al_2O_3 |
| CAS No. | : アルミナ 1344-28-1 アルミニウムシケート 12068-56-3 |

4. 応急措置

| | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | : 清浄な水でうがいをし、新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 水または石けんを用いて付着部を洗い流す。異常が継続する場合には、医師の診断を受ける。 |
| 目に入った場合 | : こすらずに直ちに多量の水で15分間以上洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 清浄な水でうがいをし、新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受ける。 |

5. 火災時の措置

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 消火剤 | : 製品は不燃性であるが集束剤・梱包材は可燃性である。水噴霧して消火する。 |
| 特有の危険有害性 | : 不燃性であり、特になし。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 漏出時の処理を行なう際には、保護具(8項)を着用する。 |
|-----------------------|-------------------------------|

環境に対する注意事項 : 万一大量に散乱し、一般市民、水棲生物への影響が懸念される場合には、直ちに関係官庁、供給者に連絡する。

回収、中和並びに封じ込め及び浄化の方法・機材

: 飛散しないよう速やかに清掃し、できる限り空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 粉塵が飛散しないよう努める。
発塵しても吸い込んだり、眼に入ったりしないように保護具を着用する。

保管

保管条件 : 粉塵が飛散しないよう保管する。

容器包装材料 : 粉塵が飛散しないような容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値²⁾ 該当なし

: ACGIH勧告値³⁾ 該当なし

設備対策 : 集塵装置、手洗い、洗眼設備、更衣設備など必要に応じて設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 一般型防塵マスク着用

手の保護具 : ゴム手袋着用

目の保護具 : 保護メガネ着用

皮膚、身体の保護具 : 必要に応じて着用

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 無色透明ないし白色のセラミック繊維集合体

臭い : なし

融点 : 約2000℃

比重 : 約3.2

溶解性 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 化学的に安定

危険有害反応可能性 : なし

避けるべき条件 : なし

混触危険物質 : 特になし

危険有害な分解生成物 : なし

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : 有害な微細繊維（長さ5µm以上、太さ3µm以下）は含有しない。

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器・全身毒性 : データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

| | |
|---------|---------|
| 生態毒性 | : データなし |
| 残留性・分解性 | : 分解性なし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : なし |

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄の際は「廃棄物処理法」など関係法令を順守する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制 : 該当なし
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 取扱いおよび保管上の注意の項による他、品質保持上、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 第57条の2、施行令第18条の2、別表第9
 名称等を通知すべき有害物質 (No. 314 人造鉱物繊維)
 化学物質管理促進法 : 該当なし

1 6. その他の情報

引用文献 1) 製品評価技術基盤機構より公表されるGHS分類対象物質
 2) 日本産業衛生学会雑誌 47巻、P. 150～177 (2005)
 3) ACGIH-化学物質と物理因子のTLV・化学物質のBEI (2004)

- ・労働省労働基準局長 基発第一号 平成5年1月1日
 「ガラス繊維およびロックウールの労働衛生に関する指針」
- ・硝子繊維協会・ロックウール工業会、平成5年6月発行
 「ガラス繊維およびロックウールの労働衛生に関する指針の解説」
- ・硝子繊維協会・セラミックファイバー工業会・ロックウール工業会、平成4年8月発行
 「人造鉱物繊維 (MMMF) 繊維濃度測定マニュアル」

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。

また、記載事項は通常の実用を前提としたものであるため特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。